

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

14. 泌尿器、生殖器の疾患 (更年期障害を含む)

文献

Ushiroyama T, Sakuma K, Nosaka S. Comparison of effects of vitamin E and wen-jing-tang (unkei-to), an herbal medicine, on peripheral blood flow in post-menopausal women with chilly sensation in the lower extremities: a randomized prospective study. *The American Journal of Chinese Medicine* 2006; 34: 969-79. CENTRAL ID: CN-00577271, Pubmed ID: 17163586

1. 目的

温経湯とビタミン E が末梢の血流に与える効果を比較評価する。

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

大阪大学産婦人科

4. 参加者

下肢の冷えを訴える 42 歳から 61 歳までの 3 ヶ月以内にホルモン補充療法を受けていない閉経女性患者、180 名

5. 介入

Arm 1: 温経湯群 (ツムラ温経湯エキス顆粒 7.5g/日) 8 週間 (60 名うち解析 58 名)

Arm 2: ビタミン E 群 (tocopherol nicotinate 600mg/日) 8 週間 (60 名うち解析 55 名)

Arm 3: 無治療群 8 週間 (60 名うち解析 48 名)

6. 主なアウトカム評価項目

問診による 4 段階評価とドップラーによる顎下、中指、中趾の血流比較

7. 主な結果

問診による冷えの自覚の評価においては、温経湯群にて有意に改善を認めた。ドップラーによる血流評価では、下肢末梢の血流改善効果がビタミン E 群と温経湯群の両群に見られた。中指の血流に関してはビタミン E 群は有意に血流を増やしたが、温経湯群では、元々から中指の血流が良い群に対しては、抑制的に働き、血流が悪い群に対しては改善的に働いていた。

8. 結論

温経湯は冷えを改善薬としてビタミン E より優れている。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

特に問題は認められなかった。

11. Abstractor のコメント

本論文は、温経湯とビタミン E の末梢血流改善効果を比較検討したものである。温経湯群は、ビタミン E と異なり、冷えの改善も行いつつ、のぼせている群に対しては冷ます効果を持っているということが述べられていて、漢方薬の特色がよく理解できる論文である。

12. Abstractor and date

中田英之 2009.1.10., 2010.6.1